

# 乳がん 高度検診・治療センター NEW-す NO.98

★ エンハーツ®が当院で使用可能になりました! ★

～エンハーツ®の副作用:間質性肺炎と、今後の展望～

その2

今回は、抗体薬物複合体とエンハーツ®について  
今回は、エンハーツ®の注意すべき副作用、間質性肺炎を中心に紹介します。

## エンハーツ®の主な副作用

「抗体薬物複合体」であり一般的な抗がん剤と比較して副作用は軽減されていますが、全く副作用がないわけではありません。主なものは以下の通りです。

- 骨髄抑制（白血球数や赤血球数、血小板数が減少する）
- 吐き気や食欲低下
- 倦怠感（だるさ）
- 脱毛など



## 最も注意が必要な副作用

エンハーツ®の最も注意すべき副作用は「間質性肺炎」です。臨床試験では13.6%の方が間質性肺炎と診断され、その中で死亡に至った方は2.2%と報告されています。

エンハーツ®投与中に「間質性肺疾患」が発見された場合は、**重症化を防ぐため、直ちに投与を中止し、肺炎の治療を開始する必要があります。**間質性肺炎を予防する方法は現在のところなく、できるだけ早く発見し治療することが最も重要です。



## 当院の取り組み

当院には常勤の呼吸器内科専門医がおられないため、岸和田市民病院の呼吸器内科と連携し対策を行うことになりました。当院でも、患者さんに安心安全に治療を提供できる体制を整えることができたため、2022年6月より患者さんへの投与を開始しております。

### ①投与前のチェック

エンハーツ®投与前に岸和田市民病院 呼吸器内科を受診いただきます。投与を開始しても問題がないか、肺の状態のチェックと、「いざという時」に救急受診いただけるように準備を行います。

### ②CTでの嚴重な肺炎確認

1-2か月に1回の頻度で肺のCT検査を行い嚴重にチェックしています。

### ③当院独自のリーフレットを作成

間質性肺炎の症状や「いざという時」の連絡先を記載したリーフレットを作成し、患者さんにお渡ししています。

## 今後の展望



エンハーツ®が投与可能な患者さんは、現在はHER2陽性乳癌患者さんの一部に限られていますが、様々な臨床試験において非常に効果が高いことが分かってきており、非常に注目されている薬剤の一つです。今後、HER2タンパクの発現が低い患者さん（HER2低発現）にも対象が広がることが期待されています。なにかご質問等ありましたら、いつでもスタッフにお尋ねください。